

目標未達成事業（B評価の事業）について

<B評価の事業（1事業）>

29-7-1 独立行政法人労働者健康安全機構運営費（労災病院の運営）

事業番号（29年度）	7-1	評価	B
事業名	独立行政法人労働者健康安全機構運営費（労災病院の運営）		
担当係	労働基準局 安全衛生部計画課 機構・団体管理室 機構調整第一係		
事業概要	<p>全国に29の労災病院を有し、労災病院ネットワークを形成し、労災疾病等に関する予防から治療、リハビリテーション、職場復帰に至る一貫した高度・専門的医療の提供を実施している。</p> <p>※労災病院の運営、施設整備は、全て自前収入で賄っている。</p>		

<29年度目標と実績>

	アウトカム指標	アウトプット指標
目標	<p>① 患者の意向を尊重し、良質で安全な医療を提供するため、患者満足度調査を実施し、患者から満足のいく医療が受けられている旨の評価を全病院平均で入院90%以上、外来75%以上、入外平均80%以上得る。</p> <p>② 患者紹介に関する地域の医療機関等との連携機能を強化すること等により、労災病院全体で地域医療支援病院の基準以上である「患者紹介率を72%以上、逆紹介率60%以上」を確保する。</p> <p>③ 地域における高度医療機器の利用促進を図るため、ホームページ、診療案内等による広報を実施し、高度医療機器を用いた受託検査を延べ35,000件以上実施する。</p>	<p>① 地域医療を支援するために、地域の医療機関の医師等に対し、診療時間帯に配慮して症例検討会や講習会等を行うことにより年間740回以上の講習を実施する。</p> <p>② <u>医療機関等を対象としたモデル医療情報、事業者や勤労者を対象としたモデル予防情報などのデータベースを掲載したホームページ（「労災疾病等医学研究普及サイト」）において、65万件以上のアクセス数を得る。</u></p>
実績	達成	未達成
	<p>① 患者満足度入院91.7%、外来80.6%、入外平均84.2%</p> <p>② 患者紹介率：72.6%（前年度実績：72.1%）、患者逆紹介率：84.6%（前年度実績：81.0%）</p> <p>※「紹介率」212,690件/292,984件、「逆紹介率」247,805件/292,984件</p> <p>③ 高度医療機器を用いた受託検査：35,564件（前年度実績：35,286件）</p>	<p>① 地域の医療機関の医師等に対する講習会開催回数：991回</p> <p>② <u>労災疾病研究に関するホームページ（「労災疾病等医学研究普及サイト」）へのアクセス数：646,716件</u></p>

<未達成の理由・原因>

関係機関のホームページトップページへの労災疾病等医学研究普及サイト（以下、「普及サイト」という。）のバナー広告の掲載、PRリーフレットを作成し、医師会、都道府県労働局、各種研修会参加者等に配布するなどの取組みを行った。目標未達成ではあるが、その達成率は99.5%であり、取組の方向性は間違っていないと判断するが、第3期研究（※）の4年目であったことから、新たな内容の充実が不足していたことや、研究者が行う研修会や講習会等の情報の掲載が不十分であったことが原因と考えられる。

また、定期的にアクセス件数を把握していたが、具体的にどのタイミングでどの内容が閲覧されているか等の分析がされていなかったことから、サイトを見る方の立場に立った更新となっていなかったことも要因と考えら

れる。

(※) 第3期研究とは、第3期中期目標期間（平成26年度～30年度）中に実施する研究のうち、労働災害の発生状況や行政のニーズを踏まえ、労災補償政策上重要なテーマや政策課題（①労災疾病等の原因と診断・治療、②労働者の健康支援、③労働保険給付に係る決定等の迅速・適正化の3テーマ）に係る研究。

<改善すべき事項・今後の課題>

- ① コンテンツの充実として、
 - ・第3期研究の普及として、今後も、学会、論文発表等の実績については、随時、普及サイトに掲載する。
 - ・30年度新たに開始する研究については、研究スタート（7月予定）に合わせ、研究内容の公表を行う。
 - ・研究者が行う学会、論文発表、講演会等について、研究者に対して普及サイトを利用した広報を呼びかける。
 - ・研究成果を踏まえてモデル事業化された「治療と仕事の両立支援」について、普及サイト上で研修会の実施報告等を掲載する。
 - ・研究者等が産業保健総合支援センターと連携して行う研修会、講習会の案内、開催報告等について掲載する。
- ② アクセスを増やすための取組として、
 - ・日別アクセス件数を調査し、どのような情報の更新がアクセス増に繋がっているか等の検証を行うことにより、サイトを見る方が欲しい情報の効果的な更新につなげる。
 - ・普及サイトをPRするリーフレットを作成し、労災疾病の臨床や研究等に携わる方々に対して、石綿関連疾患診断技術研修や日本職業・災害医学会等の場を活用する等して、直接的な広報を行う。
 - ・両立支援コーディネーター研修等で、普及サイトPRリーフレットを継続して配布する。（①のとおり、普及サイトに両立支援に係る研修会等の情報を充実させることにより、研修参加者からのアクセス増へつなげる。）
 - ・産業保健総合支援センターのメールマガジン（産業医、事業場労務担当者等が対象）で普及サイトPRを継続して実施する。（①のとおり、普及サイトに産業保健総合支援センターと連携して行った研修会等の情報を充実させることにより、産業保健関係者からのアクセス増へつなげる。）

<特記事項>

独立行政法人評価に関する有識者会議の意見を踏まえた厚生労働大臣の平成29年度業務実績評価においては全体として、おおむね中期計画における所期の目標を達成していると認められるとの評価を得ている。

<30年度目標>

	アウトカム指標	アウトプット指標
目標	<ol style="list-style-type: none">① 患者の意向を尊重し、良質で安全な医療を提供するため、患者満足度調査を実施し、患者から満足のいく医療が受けられている旨の評価を全病院平均で入院90%以上、外来75%以上、入外平均80%以上得る。② 患者紹介に関する地域の医療機関等との連携機能を強化すること等により、労災病院全体で地域医療支援病院の基準以上である「患者紹介率を75%以上、逆紹介率63%以上」を確保する。③ 地域における高度医療機器の利用促進を図るため、ホームページ、診療案内等による広報を実施し、高度医療機器を用いた受託検査を延べ35,000件以上実施する。	<ol style="list-style-type: none">① 地域医療を支援するために、地域の医療機関の医師等に対し、診療時間帯に配慮して症例検討会や講習会等を行うことにより、年間840回以上の講習を実施する。② 医療機関等を対象としたモデル医療情報、事業者や勤労者を対象としたモデル予防情報などのデータベースを掲載したホームページ（「労災疾病等医学研究普及サイト」）において、65万件以上のアクセス数を得る。

平成30年度から新しい研究を開始しました。

Click

平成29年度までの研究テーマ一覧 平成29年度までの研究テーマの内容をご覧頂けます

腰痛 労災疾病等の原因と診断・治療	運動器外傷機能再建 労災疾病等の原因と診断・治療	生活習慣病 労働者の健康支援
睡眠時無呼吸症候群 労働者の健康支援	就労支援と性差 労働者の健康支援	作業関連疾患 労働者の健康支援
外傷性高次脳機能障害 労災保険給付に係る決定等の迅速・適正化	じん肺 労災保険給付に係る決定等の迅速・適正化	アスベスト 労災保険給付に係る決定等の迅速・適正化
研究報告書一覧	研究冊子等一覧	

平成25年度までの研究分野一覧 平成25年度までの研究分野の内容をご覧頂けます

職業性外傷	脊椎・脊髄損傷	感覚器傷害	物理的因子疾患
筋・骨格系疾患	振動障害	産業中毒	職業性呼吸器疾患
脳・心臓疾患	メンタルヘルス	働く女性の健康	リハビリテーション
両立支援	アスベスト	研究報告書一覧	研究冊子等一覧

その他のコンテンツ その他のコンテンツをご紹介します

病職歴調査
病職歴調査とは、昭和59年から全国の労災病院で行っている、労災病院グループ特有の大規模調査です。

職業性皮膚疾患NAVI
皮膚の疾患は、患者さんの体質や環境によって様々です。その症例情報を集積し、共有することで、多くの方々の治療や予防に役立てます。

産業中毒化学物質検索
製造業や建設業などの産業現場では、さまざまな工程で有機溶剤や重金属等多くの化学物質が使用されています。仕事上でこれらを使用したことによる健康障害を「産業中毒」と呼んでいます。化学物質情報をデータベース化し、共有することで、多くの方々の治療や予防に役立てます。

お知らせ

- H30.10.12 お知らせ**
第12回じん肺診断技術研修の申込受付は終了しました。
- H30.10.9 お知らせ**
勤労者医療フォーラム（第4回）を掲載いたしました。
- H30.10.5 お知らせ**
第16回女性医療フォーラム「コロナとカラダのビューティーサポート」を開催いたします。
- H30.10.5 お知らせ**
両立支援コーディネーターに関する情報を掲載いたしました。
- H30.10.2 お知らせ**
平成30年度に発表された、病職歴データベースを活用した研究論文・各種学会発表を掲載いたしました。
- H30.9.13 お知らせ**
平成29年度 入院患者病職歴調査基礎解析（入院患者病職歴調査統計処理専門委員会）を掲載いたしました。
- H30.8.23 お知らせ**
平成30年度 石綿関連疾患診断技術研修会を開催します。

労災疾病等 3領域とは

関連リンク

**両立支援
コーディネーター**

じん肺の労災補償

